



メタルハライドランプ方式試験機

【特徴】

水銀とハロゲン化金属の混合蒸気中のアーク放電により強力な紫外線光を発生します。特に長い暴露時間を想定する場合や、短時間で試験結果を確認したい場合におすすめです。

【仕様】

SUV-W151(岩崎電気(株)製)		SUV-W161(岩崎電気(株)製)	
			
有効照射面積	420×190mm	有効照射面積	422×190mm
放射照度※ (@300~400nm)	75~150mW/cm ² 750~1500W/m ²	放射照度 (@300~400nm)	75~150mW/cm ² 750~1500W/m ²
ブラックパネル温度	58~83±3°C(照射時)	ブラックパネル温度	50~83±3°C(照射時)
槽内温度	成り行き	槽内温度	成り行き
槽内湿度	30~70%R.H.(照射時)	槽内湿度	40~70%R.H.(照射時)
水噴霧可、湿潤試験(~95%R.H.)可			
①照射のみ、②照射→休止、③照射→結露、④照射→休止→結露、⑤照射→結露→休止の5つの試験サイクルが試験可能です。			

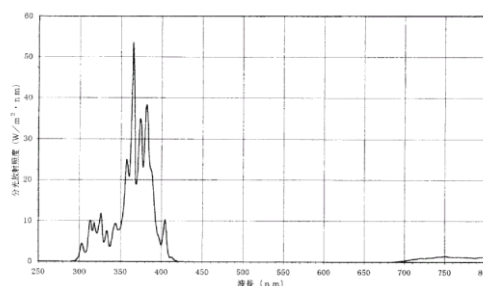
【主な対応規格】

JIS A 1501 樹脂製建具のメタルハライドランプによる促進耐試験方法-A法,B法(SUV-W161のみ)

日本試験機工業会の規格であるJTM G 01(メタルハライドランプ方式試験機)に準拠

※放射照度の管理に使用する機器がJIS C 1613(メタルハライドランプ方式試験機用高エネルギー紫外放射照度計)に対応した

ものとなり、従来50~100mW/cm²で表示されていた放射照度が75~150mW/cm²の表示となります。2022年10月以降に開始した試験の報告書から放射照度表示は、JIS C 1613に対応した放射照度計での条件75~150mW/cm²(750~1500W/m²)に統一することと致します。



メタルハライドランプの分光放射照度分布

一般財団法人日本ウエザリングテストセンター

銚子暴露試験場 促進劣化担当

千葉県銚子市新町 1034-1

TEL 0479-23-8131 FAX 0479-23-8132 URL <http://www.jwtc.or.jp>